



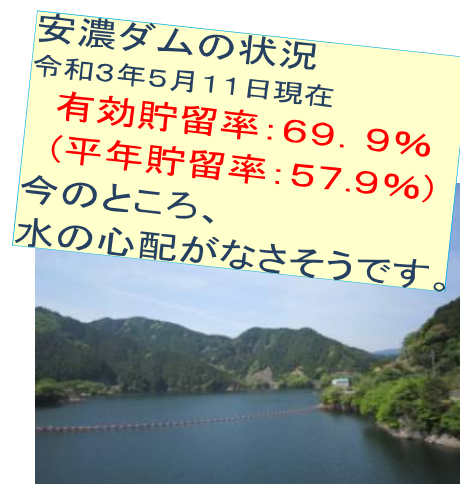
いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

今年、適正な茎数を確保してから、中干しを開始しましょう！

今年は、田植え時期に強風の日が多く、風による『植え傷み』が見られます。生育が少し緩慢になっている圃場も多いため、適正な茎数が確保できたら、中干しを開始しましょう。
中干し時期は梅雨時期と重なるため、本格的な梅雨に入る前に始めることも大切です！！

【中干しの目安】梅雨入り前に！！

- ・分げつした茎数を数えて中干しを開始しましょう。
50株/坪植え→茎数18本/株
60株/坪植え→茎数16本/株を目安にスタート！
- ・田面に小さな亀裂が入る程度を目安として、
土壌条件に応じた中干しを行いましょう。
- ・中干し期間中は、水尻をしっかりとあけて、
確実な排水に努めましょう。



【ほ場条件と中干しの程度】

乾きやすい圃場(砂質田・黒ボク等)



乾きにくい圃場(半湿田・粘質田)



○溝切り作業で、さらに効果アップ！

【中干し後の水管理】

中干し後は『間断かん水』とし、
根に新鮮な水と空気を交互に供給しましょう！

【間断かん水(例)】

乾きやすいほ場	1日湛水→2～3日落水
乾きにくいほ場	1日湛水→4～5日落水

幼穂形成期前には、中干しを終了し、
必ず入水を開始してください。